

# 円柱さし

---

感覚教育

円柱差し ABC C'  
感覚教育(視覚)

直接目的：  
視覚を通して次元の違いを知る

間接目的：  
・書くことの準備  
・算数教育への準備  
(量の経験。10進法へのつながり)

**Paring:**対にする提示「ぴったり」  
**Grading:**段階づける提示「順番に」

※写真では絨毯の上で行なっていますが、机の上で行うのが正しいです。

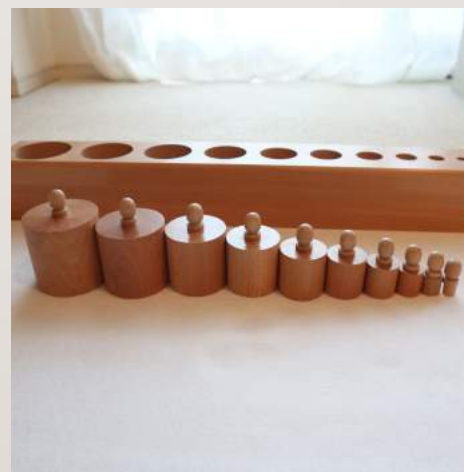
A:太さ一定・高さ変化



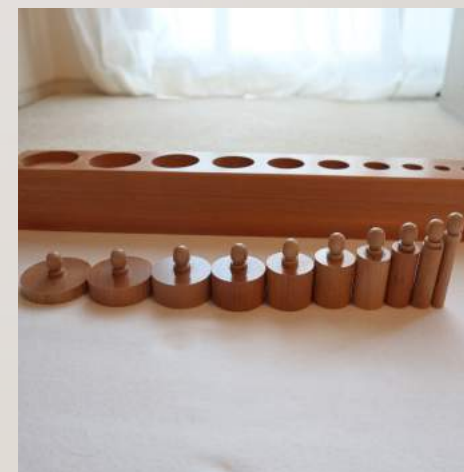
B:太さ変化・高さ一定



C:太さ・高さ変化



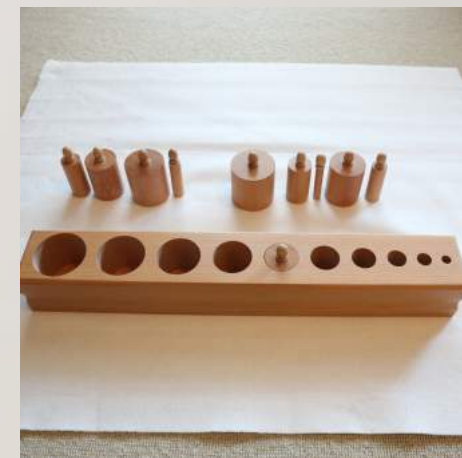
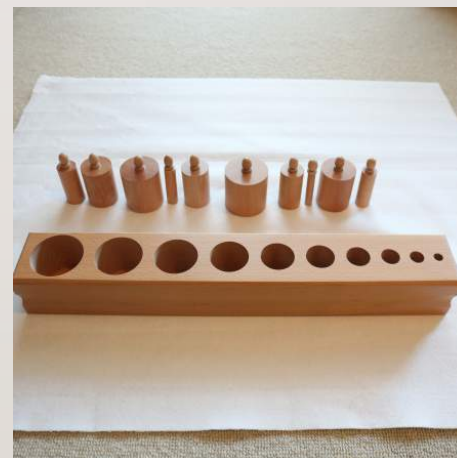
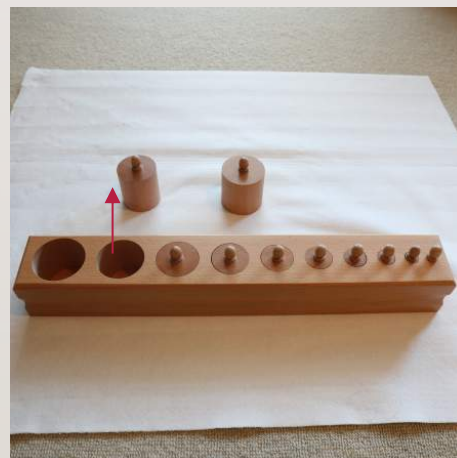
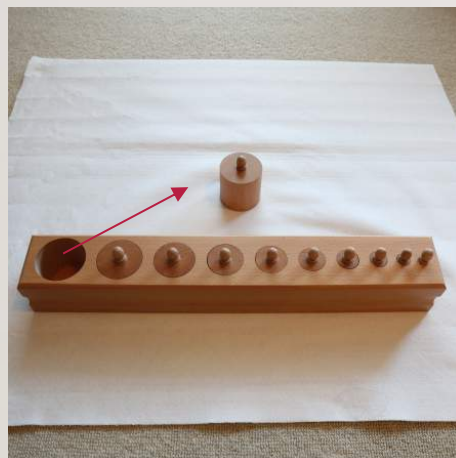
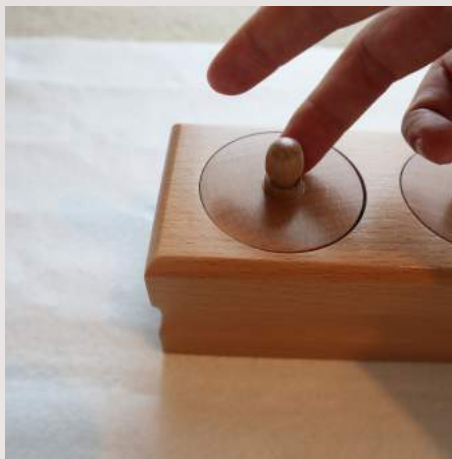
C':太さ・高さ変化



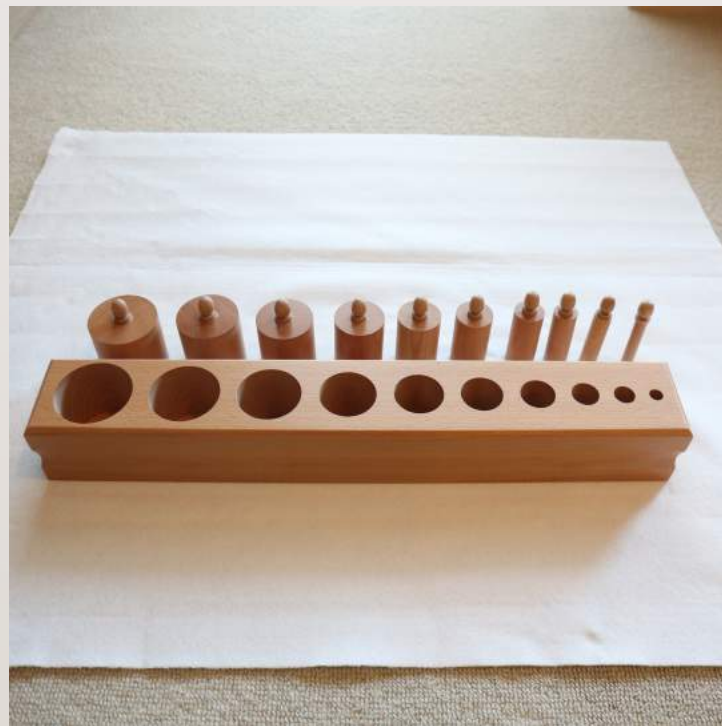
## ペアリングの基本提示(B使用)

円柱さしの運び方を示し  
机の上に運ぶ

左端の最大の円柱から  
抜き出して、順不同に並べる  
全てだしたら、任意の1本を手に取り  
ピッタリの穴に入れていく。



## 基本提示の前段階



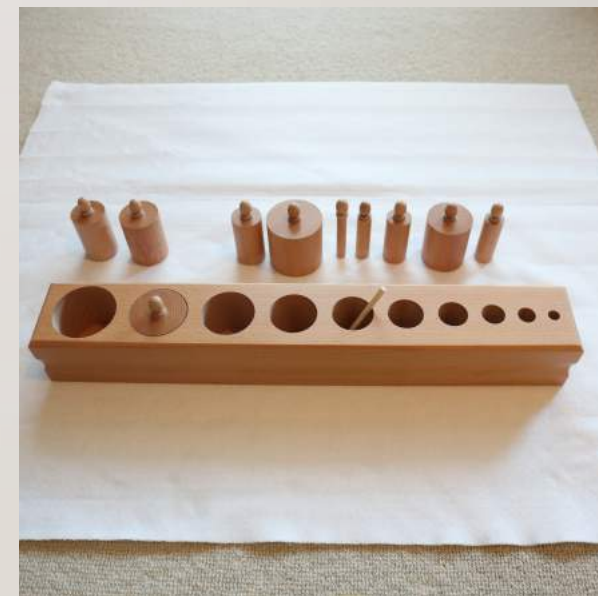
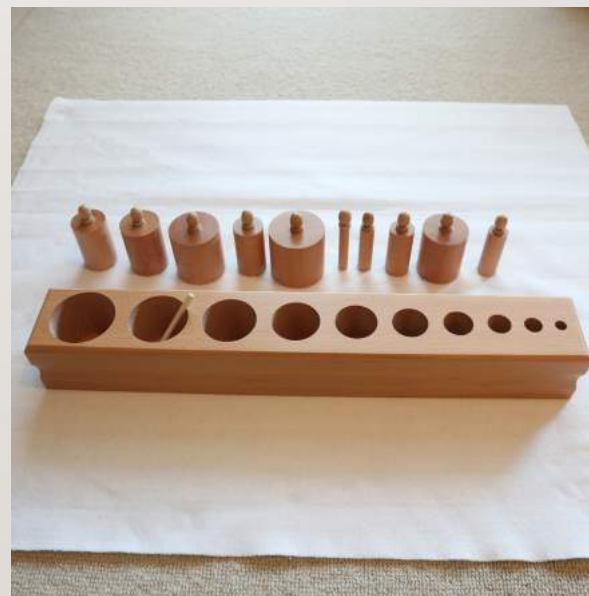
発展提示(B使用)

指示棒(同梱なし)を使用

基本提示と同じように  
順不同で並べる

指示棒を任意の穴に入れ  
そこにピッタリの円柱を  
入れる

円柱を入れたら、またほ  
かの穴に指示棒を入れて  
繰り返す

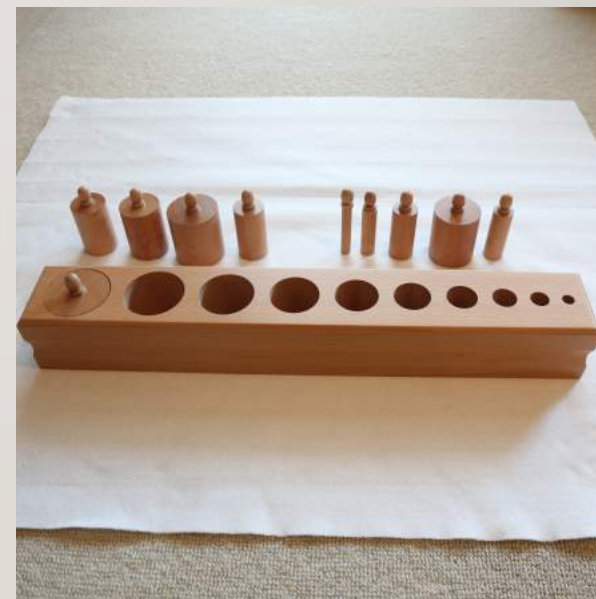
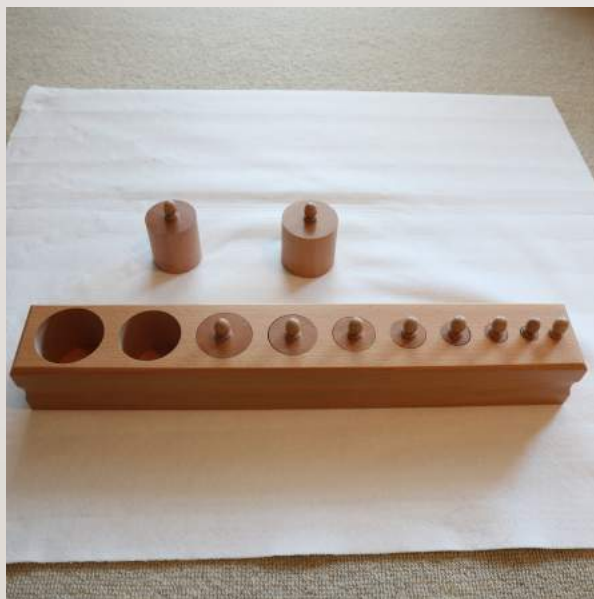


発展提示

順序性を重んじる

基本提示と同じように  
順序不同で並べる

大きい円柱差しから  
順番に入れていく



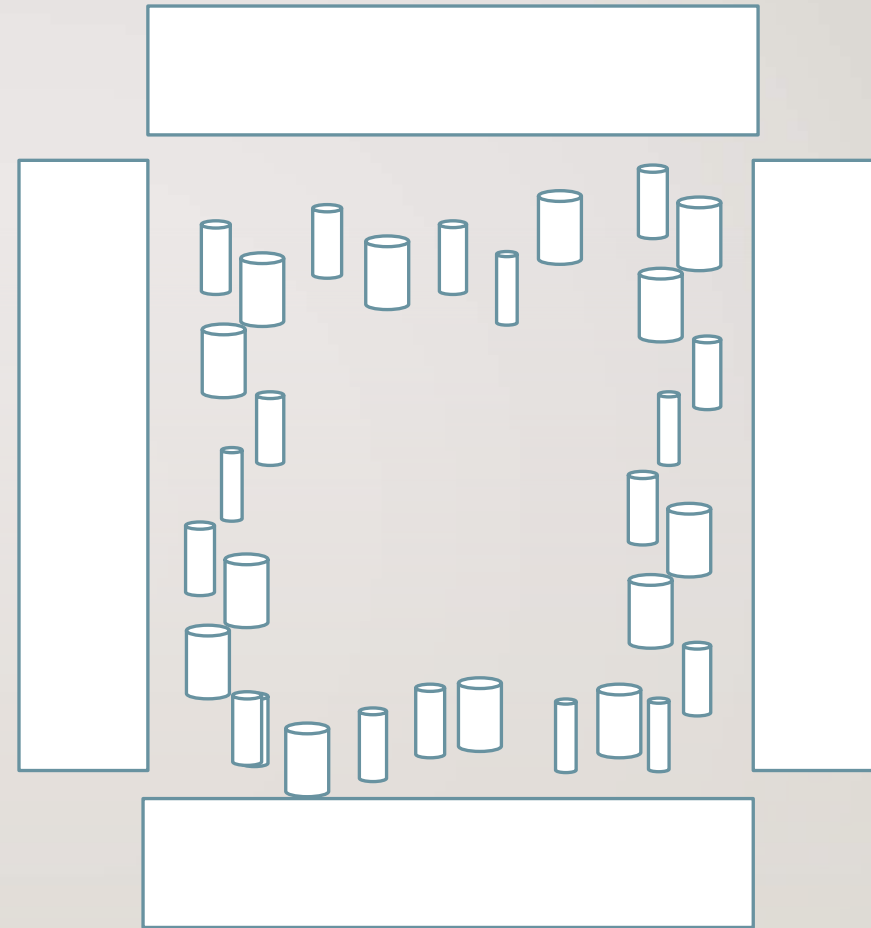
発展提示(4つの円柱差しを使用)

4つの円柱差しを口の字に並べ  
内側に順不同に円柱差しを並べる

「同じものを見つけて  
真ん中に集めてね」と指示

その後、じゃんけんで勝った人に指示  
棒を渡し、隣の人の穴に指示棒を入れて  
ねと伝える

隣の人は、指示棒の穴に合う円柱差し  
を入れて、指示棒は更に隣の人の任意  
の穴に入れる



## 記憶練習 2つ

ブロックと別の場所に  
円柱差しを順不同で並べ  
る



指示棒で任意の穴を指定



そこに合う円柱差しを選  
び入れる



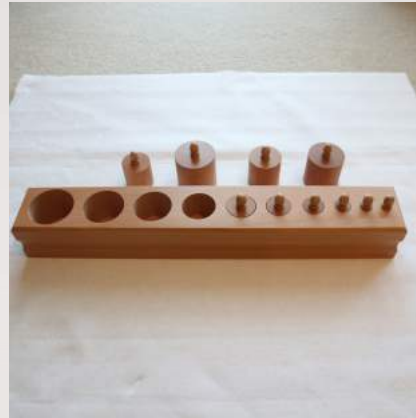


## グレーディングの基本提示(C使用)

左から順不同で並べる

ブロックを片づけ

円柱差しを大きい順に並べる



### 記憶練習3つ

(A)下記の通り

(B)抜き出した円柱を隠す

(C)円柱を部屋中にバラバラに置き

順番に探してきて並べてねと伝える

基本提示と同じように  
順番に並べる

子どもに目隠しをさせ  
1つ抜き出す

抜き出したところが分か  
らないように列を詰める

目隠しをやめ、これはど  
こに入りますか？と聞く

